

会員のみなさま

JSPEHSS 副会長の木塚朝博です。

冒頭に、熊本地方の地震で被災された方々に、お見舞いを申し上げます。また、千葉県に始まり、ほぼ毎日のように大雨に関する警報が発令されています。集中豪雨に関連して被災された方々に、お見舞いを申し上げます。今年の夏は、昨年より猛暑日は増えなかったものの、台風が東から西へ進んだり、ピンポイントでの警報級の豪雨が多発したり、まさに「経験したことのない」ことが起こっています。これまで緊急シンポジウムや、北海道での学会大会でも取り上げられてきた「気候変動が体育・スポーツ・健康に及ぼす影響」も、様々な、加速的に広がっているように感じます。相手が自然ですので、それらと戦うというより、私たちの対応力、適応力を拡張していくしかないと思います。9 月は防災月間。北海道から帰ってきて、まず非常用品のバックの中をチェックしました。

なお、何度かお知らせしていますが、本学会では自然災害等によって甚大な被害を受けた正会員に対しまして、年度会費の免除措置を設けております。詳細は、学会 WEB サイト「入会・各種手続」ページの「被災による会費免除を申請する方へ」をご確認ください。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/admission>

さて、8 月 31 日から 9 月 2 日にかけて、第 76 回大会が北翔大学を主管校として開催されました。実行委員長とディレクターの指揮采配の下、本当に行き届いた準備と運営を行なって下さり、心から感謝を申し上げます。各係を担って頂いた先生方、気持ちの良い応対をしてくれた学生スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。大会テーマに掲げたように、さまざまに「つどい」、いろいろと「つながる」、とても有意義で楽しい学会大会でした。参加された方々にも、心から御礼を申し上げます。

8 月 26 日に開催された 2025・2026 年度第 10 回理事会および 9 月 1 日に開催された 2025・2026 年度臨時社員総会から主なお知らせです。

第 10 回理事会の議事次第は以下の URL からご覧いただくことができます。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/wp-content/uploads/2026/09/jspe20260826.pdf>

1) 「体育学研究」編集委員会より

理事会では、体育学研究における生成 AI 等の取り扱い及び使用に関する方針について議論を重ねてきました。今後ともアップデートは必要ですが、現在のところの方針や投稿の手

引き（新旧対照表）などをホームページに掲載していますので（NEW!）、各位、ご確認の程、よろしくお願いいたします。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/kikanshi>

2）研究倫理委員会より

研究倫理に関する資料についても整備が進められています。「生成 AI の利用と研究倫理について」を学会ニュースへ掲載しましたので、ご一読ください。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/news/13294>

また「日本体育・スポーツ・健康学会における研究倫理審査」に関するチェックシート（2026 年版）に関しましても、リニューアルしたものを機関誌ページに掲載しました。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/kikanshi>

3）第 4 期スポーツ基本計画に関するパブリックコメントについて

パブリックコメント提出への積極的な協力を、本学会理事や関係団体にお願ひしました。今回は、もう締め切られましたが、ウェルビーイングの捉え方、運動部活動の地域移行、ハイパフォーマンスの追求、セーフスポーツの考え方などなどに対して、本学会としても議論を深めていくと共に、会員の皆様におかれましても、常にアンテナを張って、考え続けて頂きたいと思います。

念の為、「第 4 期スポーツ基本計画の策定について～中間報告～」の URL を下に記します。

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/download?seqNo=0000319635>